

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経営分析 (Financial Statements Analysis)		授業コード	E013451
担当教員名	吉本 圭一郎		科目ナンバリングコード	E30614
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	講義には休まずに出席してください。また、計算機(電卓)を必ず持ってきてください。			
受講心得	関連科目の基礎を学習していると、経営分析の理解が早まります。			
教科書	最初の講義で指定します。			
参考文献及び指定図書	ビジネスゼミナール経営分析入門 森田松太郎 日本経済新聞社			
関連科目	財務管理論, 簿記原理, 財務諸表論, 原価計算論, 管理会計論			

授業の目的	最近では、市販の会計ソフトのほとんどに経営分析システムが組み込まれています。しかし、月次決算や年次決算の際に、このような数値を有効に経営に反映している企業はさほど多くないように見受けられます。企業を取り巻く経済環境は厳しいだけでなく、絶えず変動しています。先月まで好調に見えた企業が、突然、経済環境の変動で倒産に追い込まれることがあります。そのようなことにならないように、企業の経営者は自社の経営分析を定期的に行い、自社の経営体質強化に役立てていく必要があります。この講義では、そのような経営分析能力の基礎を身につけることを目標としています。
授業の概要	授業では、毎回レジュメを配布し、それにそって講義を進めていきます。また、実際に公表されている企業の財務諸表などを用いながら、経営分析の各種指標等を体系的に学習していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：経営分析の意義と目的</b> 経営分析の意義と目的を説明します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第2週：簿記・会計の基礎(1)</b> 経営分析を定量的に行う場合、財務諸表に関する知識が必要不可欠です。ここでは、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書等の財務諸表の構造を学習します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第3週：簿記・会計の基礎(2)</b> 経営分析を定量的に行う場合、財務諸表に関する知識が必要不可欠です。ここでは、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書等の財務諸表の構造を学習します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第4週：収益性分析(1)</b> 企業が成長・発展していくには、利益の獲得が必要です。ここでは、企業の収益性、つまり儲ける力(利益を得る力)、儲け方の効率を企業の財務諸表の数値等を用いて、分析します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第5週：収益性分析(2)</b> 企業が成長・発展していくには、利益の獲得が必要です。ここでは、企業の収益性、つまり儲ける力(利益を得る力)、儲け方の効率を企業の財務諸表の数値等を用いて、分析します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第6週：効率性分析(1)</b> 企業は調達した資金を使って資産を取得し、売上をあげていきます。ここでは、企業が調達した資産を効率よく使って、収益を獲得できているか(保有資産を有効活用できているか)について、財務諸表の数値等を用いて、分析します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第7週：効率性分析(2)</b> 企業は調達した資金を使って資産を取得し、売上をあげていきます。ここでは、企業が調達した資産を効率よく使って、収益を獲得できているか(保有資産を有効活用できているか)について、財務諸表の数値等を用いて、分析します。	配布資料 確認問題・解答
<b>第8週：これまでの復習と小テスト</b> これまでの復習を行います。また、小テストも実施予定です。	配布資料 確認問題・解答

<b>第9週：安全性分析(1)</b>		配布資料 確認問題・解答
安全性は「倒産危険性」ともいえます。自社の倒産は何としても回避しなければいけませんし、倒産しそうな相手との取引は当然避けるべきです。ここでは、こうした企業の安全性について、財務諸表の数値等を用いて、分析します。		
<b>第10週：安全性分析(2)</b>		配布資料 確認問題・解答
安全性は「倒産危険性」ともいえます。自社の倒産は何としても回避しなければいけませんし、倒産しそうな相手との取引は当然避けるべきです。ここでは、こうした企業の安全性について、財務諸表の数値等を用いて、分析します。		
<b>第11週：損益分岐点分析(1)</b>		配布資料 確認問題・解答
黒字にするための売上の最低ラインが損益分岐点となります。これを知らなければ、企業経営は成り立たないといっても過言ではありません。ここでは、財務諸表の数値を用いて、企業の損益分岐点について学習します。		
<b>第12週：損益分岐点分析(2)</b>		配布資料 確認問題・解答
黒字にするための売上の最低ラインが損益分岐点となります。これを知らなければ、企業経営は成り立たないといっても過言ではありません。ここでは、財務諸表の数値を用いて、企業の損益分岐点について学習します。		
<b>第13週：生産性分析</b>		配布資料 確認問題・解答
企業が投入した経営資源から、どれだけの成果を生み出すことができたかを分析するのが、生産性分析です。ここでは、生産性分析の意義や生産性を高めるための要素等を学習します。		
<b>第14週：成長性分析</b>		配布資料 確認問題・解答
企業の売上や利益の伸びを分析するのが、成長性分析です。自社の将来や株式投資を考えている人にとっては、押さえておきたいポイントです。ここでは、財務諸表の数値等を用いて、企業の成長性を分析します。		
<b>第15週：キャッシュ・フロー分析</b>		配布資料 確認問題・解答
企業活動の源泉は、利益や売上ではなくキャッシュです。「黒字倒産」という言葉があるように、いくら利益があがっていてもキャッシュが足りなくなれば、企業は倒産してしまいます。ここでは、財務諸表の数値を用いて、キャッシュ・フロー分析を学習します。		
<b>第16週：期末試験</b>		
これまでの授業内容を試験範囲とします。筆記用具、電卓以外は、持ち込み不可です。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	経営分析の意義・目的について説明できる。
<b>【知識・理解】</b>	経営分析に用いる代表的な分析指標に関する基礎知識が身についている。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	経営分析に関する代表的な分析指標を使いこなすことができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	企業の財務諸表等を比較・分析することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	授業時に課題やレポートを出しますので、積極的に取り組んでください。
発表・その他(無形成果)	授業に欠席したり、遅刻早退せずに意欲的に取り組んだ場合は、評価の対象とします。